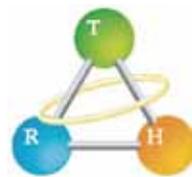


はあと

メディカルインフォメーション



多職種で構成された専門スタッフが
安全で良質かつ高度な医療をご提供します

センター開設のお知らせ

脊椎脊髄・人工関節センター

センター長 整形外科部長 中原 大志

当センターでは、脊椎脊髄外科専門医2名と人工関節専門医1名の「医師」に加え、脊椎外科や人工関節手術に精通した「看護師」および脊椎手術においては術中の神経麻痺のリスクを事前に防ぐための神経モニタリングを行う「臨床検査技師」などの専門スタッフによる医療体制で治療に当たっています。

脊髄領域の疾患については、当院の脳神経外科とも連携して治療を行っています。

また、より早い社会復帰を目指して、術後早期より理学療法士、作業療法士によるリハビリを開始しています。



O-arm ナビゲーションシステムを導入し
より難易度の高い症例にも対応しています。▶

当センターの特徴

- ① 低侵襲手術の導入・・・安全が担保されていれば可能な限り低侵襲な手術を心がけています。
- ② 難易度の高い疾患への対応・・・後側弯症や首下がりなどの脊柱変形の矯正手術にも対応しています。
- ③ 高度な医療機器による治療・・・精度の高い手術をより安全に行うために「ナビゲーションシステム」を導入しています。
- ④ 先進的な医療・・・「頸椎人工椎間板置換術」「椎間板内酵素注入療法（コンドリナーゼ）」「経皮的椎体形成術（BKP）」を行っています。
- ⑤ 安全な医療・・・脊椎手術の際には術中神経モニタリングを使用しています。

脳卒中センター

センター長 脳神経外科医長 藤井 本晴

当院では、従来の脳卒中診療体制をより発展させ、効率化を図る目的で脳卒中センター化を推進してきました。

今回、「日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター」に認定されたことを機に、病院として脳卒中センターとして新たに体制を整えることになりました。

構成スタッフには、救急科、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科の各医師を中心に、脳卒中にかかわるすべての医療職種による多職種で構成されたチームとして集約的な脳卒中診療を行っていきます。

第112号

発行日
2022年 5月 12日

日本私立学校振興・共済事業団
東京臨海病院



当院は
日本医療機能評価機構による
「病院機能評価認定病院」です

目次：

センター開設のお知らせ	1.2
第20回東京臨海病院 区民公開講演会のお知らせ	2
感染リスクが高まる 「5つの場面」	2
ICT times Vol.50 「ICT: 感染制御チームを知っていますか？」	3
NEW FACE	3
面会禁止のお知らせ	3
休診のお知らせについて	3
ちょっと気になる こんな制度	4
編集後記	4

24 時間 365 日の救急医療体制

脳卒中の超急性期治療は時間が勝負です。当院では、救急科専門医（全員、脳神経外科専門医有資格者）による救急外来での迅速な初期治療が行われます。



専門医によるチーム医療

その後、血栓溶解療法や経皮的脳血栓回収療法が必要と判断された場合には、脳卒中専門医、脳血管内治療専門医や脳神経外科医へ、主に保存的加療を中心に検討された場合には、脳神経内科医へのシームレスな診療移行がなされます。

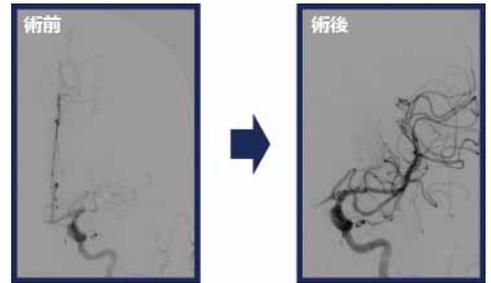
入院後は、速やかに早期リハビリテーション加療の介入により、リハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）による後遺症状残存を最小にすべく治療が施されます。入院後の経過に応じて、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーにより各専門職の介入を行います。

以上のように、当センターで治療を受けられた患者さんには、多職種が協力することにより、初期治療から退院まで切れ目のない包括的脳卒中診療が可能になりました。

脳卒中センターでは、患者さんのご期待に添える脳卒中診療を行えるようチーム一同業務にあたりますのでよろしくお願いいたします。



<脳血管内治療 風景>



<脳血管内治療 症例>

◆一次脳卒中センターとは (PSC: Primary Stroke Center)

地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24 時間 365 日脳卒中や脳卒中を疑う患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的に速やかに診療（t-PA 静注療法や脳血栓回収療法）を開始できる施設です。

一般社団法人日本脳卒中学会が定める認定要件を満たす施設が「一次脳卒中センター（PSC）」の認定を受けることができます。

「第 20 回 東京臨海病院 区民公開講演会」のお知らせ

「いま知りたい腰痛のはなし」

参加費無料
事前申込み

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1▶ なぜ腰は痛くなるのか？～その原因と治療法～ | 中原 大志（整形外科部長） |
| 2▶ 腰痛にならない・負けないカラダをつくろう | 笠原 剛敏（リハビリテーション室長） |
| 3▶ ペインクリニックで診る腰痛 | 中川 真志（麻酔科 / ペインクリニック医長） |

■ 日時 / 2022 年 6 月 4 日(土)

13:15 ~ 15:50(12:50 受付開始)

■ 場所 / タワーホール船堀

(小ホール)

★ご参加には、事前申込みが必要です。

①WEBでの参加

(利用ツール: Cisco Webx Meetings)

QRコードからお申込みください。
【申込期日】5月30日(月)まで



②会場での参加

①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 を明記のうえ、下記のいずれかでお申し込みください。

- 院内に設置してある「受付BOX」へ投函
- FAX送信 FAX番号: 03-5605-7586(診療情報管理課宛)
- メール送信 メールアドレス / kouenkai@tokyorinkai.jp

【お問い合わせ】東京臨海病院 事務部 診療情報管理課 TEL:03-5605-8811(代) (受付時間: 土日・祝日を除く平日9:00 ~ 17:00)

感染リスクが高まる「5つの場面」

1

飲食を伴う
懇親会

2

大人数や長時間の
飲食

3

マスクなしでの
会話

4

狭い空間での
共同生活

5

居場所の
切り替わり

換気を良くして三密を避けよう！ いつでもマスク・手洗い・消毒忘れずに！

ICT times Vol.50

ICT：感染制御チームを知っていますか？

ICT は感染症やその対策の研修を受けた医師、看護師、薬剤師、検査技師で構成されています。

活動の目的は、**「医療に関わる感染症を予防すること！」**です。ICT と全国的に呼ばれるようになったのは2010年前後頃ですが、当院では開院した2002年からICTの前進となる活動が始まりました。活動は、病院内での感染予防対策、職員や患者さんの感染症対策教育、自治体や保健所と連携して感染症の対応を行ってきました。2012年頃からは地域の病院とも連携を行い、情報交換や病院訪問など連携して、お互いの対策を高め合う活動をしています。

現在は、新型コロナウイルス感染症の対応などもICTが中心となり行っています。病院や地域の感染症と、その対策を支えるための活動を続け、患者さんをはじめ医療に関わる全ての人が安心・安全に過ごせるように日々努力しています！



NEW FACE

2022年4月に着任した医師を紹介します。

呼吸器外科	部長	牧野 洋二郎 (マキノ ヨウジロウ)	皮膚科	医員	木蜜 徹 (キミツ トオル)
糖尿病内科	医長	安藤 久恵 (アンドウ ヒサエ)	循環器内科	専攻医	平田 萌 (ヒラタ モユル)
放射線科	医員	大村 健介 (オオムラ ケンスケ)	消化器内科	専攻医	上村 泰子 (ウエムラ ヤスコ)
外科	医員	百瀬 裕隆 (モモセ ヒロタカ)	呼吸器内科	専攻医	白倉 ゆかり (シラクラ ユカリ)
呼吸器外科	医員	山道 堯 (ヤマミチ タカシ)	メンタルクリニック	専攻医	宮崎 凌 (ミヤザキ リョウ)
循環器内科	医員	江湊 康柔 (エフチ ヤスナリ)	外科	専攻医	田中 遥 (タナカ ハルカ)
泌尿器科	医員	石川 圭祐 (イシカワ ケイスケ)	呼吸器外科	専攻医	富岡 勇宇也 (トミオカ ユウヤ)
産婦人科	医員	原田 祐一 (ハラダ ユウイチ)	泌尿器科	専攻医	小藤田 智 (コトウダ サトル)
メンタルクリニック	医員	相澤 香織 (アイザワ カオリ)	耳鼻咽喉科	専攻医	加藤 柚香 (カトウ ユズカ)

■ 新型コロナウイルス感染症の、感染防止に伴う面会禁止 等について

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、面会禁止 等を実施しておりますが、今後の状況の進展により対応の変更が生じると思われます。来院の際は、ホームページにて最新情報を確認くださいますようお願いいたします。

■ 休診のお知らせについて

当院ホームページにて、休診のお知らせを掲載しております。ご予約以外で受診される際ご確認をお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の対応により外来診療スケジュールが急遽変更になる場合があります。また、医師の急な都合により、休診情報を掲載できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。



★詳しくは病院ホームページをご覧ください <http://www.tokyorinkai.jp/>

■ 「東京臨海病院公式 Facebook」

東京臨海病院では Facebook ページで、病院の院内・院外活動について情報発信を行っています。

【5・6・7月の土曜診療日】 5月14・28日、6月11・25日、7月9・23日

■受付時間■午前8時～午前10時30分 原則として予約診療はいたしません。

医療福祉相談室 発 **ちょっと気になる こんな制度**

社会保険加入のみなさま

傷病手当金の支給が柔軟に変わります

健康保険法による傷病手当金は病気やけがのため働くことができない間の所得保障を目的として支給されますが（支給要件あり）、仕事と治療の両立の観点から支給期間の考え方が変更されました。＜根拠法：「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和3年法律第66号）」＞

★ポイント① 支給期間の考え方

改正前 → 支給開始日から暦上の1年6ヶ月で打ち切り

※期間中に出勤し給与が支払われた日数（＝手当金不支給）も支給期間に含まれる

改正後 → 支給開始日から**通算1年6ヶ月**

※期間中に出勤した日数を支給期間に含めず手当金支給期間を積算

★ポイント② すでに受給している場合

この改正は令和4年1月1日から施行。令和3年12月31日時点で支給開始日から起算して1年6ヶ月を経過していない傷病手当金（令和2年7月2日以降に支給開始されたもの）が対象となる。

支給期間の考え方

（厚生労働省ホームページより引用）

現行の傷病手当金の支給期間

療養期間		療養期間		療養期間	
出勤	欠勤	欠勤	出勤	欠勤	出勤
	待期間	支給	不支給	支給	不支給

← 1年6か月 →

※支給開始日から起算して
1年6か月経過後は不支給

改正後の傷病手当金の支給期間

療養期間		療養期間		療養期間	
出勤	欠勤	欠勤	出勤	欠勤	出勤
	待期間	支給	不支給	支給	支給

通算1年6か月

※支給開始日から通算して
1年6か月まで支給

詳しくはご加入の保険者（協会けんぽや健康保険組合など）へお問い合わせください。

■ 編集後記

コロナ渦で迎える3度目の春です。通勤途中に見る桜を眺めながら、いつになったらお花見ができるんだろうと、恨めしくもなりましたが、少しずつ生活は戻ってきているように感じます。もう少しすると、東京もGOTOが再開するという話をTVで見て、密かに期待に胸を膨らませているこの頃です。楽しい仲間と、飲んだり、旅行に行ったりできるように、今は感染予防に努めましょう。

**診療実績**

2022年2月の当院の実績は以下のとおりです。

病床数：400床

医師数（2022年2月1日現在）：74名

外来延患者数：12,629名

入院延患者数：7,708名

手術件数：219件